研究センター・試験地紹介 #22

高知試験地

公益財団法人日本植物調節剤研究協会
高知試験地　主任
山﨑　幸重

はじめに

高知県は日本全土の面積の 1.9%を占める全国 18 位の大きさで，四国の南半分の細長い扇型の地形をしており，東西の海岸線の長さは 713km に及ぶ。背後にそびえる四国山地には，標高 1,000m を超える険しい山々が連なり，林野面積は県全体の 84%を占め全国 1 位である。

気象条件では，夏には南寄りの湿った気流が四国山地に吹きつけ，山間部では平年の年間降水量が 3,000mm を超える所が多く，日本でも有数の多雨地帯である。冬には北西の季節風が関門海峡や中国・九州山地の低地を通り四国山地に吹き付けるため，中山間地域は意外と降雪が多い。一方，海岸部・平野部では季節風が四国山地に遮られるのに加え，黒潮の影響も受けて温暖な気候であり，晴天が多くて日照時間も多いことから，狭い平野部の耕地を効率的に活用した施設園芸が盛んである。

試験地の概要

植調高知試験地は 2023 年 4 月に高知県香南市野市町に開設された（図 -1，図 -2）。香南市は年間平均気温 16.8℃，年間降水量 2,309mm，年間日照時間 2,243 時間と温暖多雨な気象条件である。なお，試験で用いる気象データは高知龍馬空港に設置されたアメダス南国日章の値としており，観測機器までの直線距離は 2,380 mである。

当試験地は高知市から東に約 18km であるが，高知龍馬空港までの経路は約 4 km と近い。ＪＲでも土讃線の後免駅で土佐くろしお鉄道ごめん･なはり線に乗り換えて 3 駅の「のいち駅」が最寄り駅で，試験地から 1.2km と交通の便は良好である。

試験の実施状況

1）水稲用除草剤適用性試験（図 -3, 図 -4）

試験圃場の土壌は，細粒質下層黒ボク灰色低地土に分類され，土質・土性は沖積・軽埴土（LiC），腐植含量 3.8%，減水深 1cm/ 日，ｐＨ 6.2 である。農業用水は土佐 2 代藩主山内忠義の時代，野中兼山の治水灌漑事業により物部川から分水されており，一年を通じて用水に不便はない。

試験は早期栽培で実施しており，移植時期は 4 月上中旬，品種はコシヒカリを用いている。対象雑草はノビエ，一年生広葉，ホタルイ，ミズガヤツリ，ウリカワ，ヒルムシロ，セリであるが，開設前までの水稲栽培では雑草の発生がほぼ無かったことから，一部の一年生広葉雑草(主にアゼナ)を除き，ノビエ及びホタルイは種子を一定量ずつ播種，多年生雑草は塊茎（ミズガヤツリ，ウリカワ），鱗茎（ヒルムシロ），切断

図 -1　高知県及び高知試験地の所在地

図 -2　高知試験地

図 -3　適２試験実施圃場（2025 年）

図 -4　2025 年度近畿中国四国地域夏作関係除草剤試験中間現地検討会での圃場見学の状況

図 -5　試験地周辺の主な見所

茎（セリ）を各５個体ずつ埋め込んで実施している。

なお，ノビエは自然発生での評価ができるように，試験開始時から試験枠外の通路への播種や５葉期程度まで育苗し移植するなどの増殖対策を実施してきたが，スクミリンゴガイの食害により３年目となる本年度も十分な自然発生が得られていない。なお，現在も自然発生での評価ができるように対策を実施している。

例年の残草調査は移植後 55 日前後の６月上旬，収穫調査は８月上旬である。

２）水稲関係生育調節剤試験

試験地開設の２年目となる 2024 年度から実施している。

主に，普通期栽培での高温時の登熟向上に関する試験を実施しているが，品種や移植時期によっては登熟期間中の高温による著しい不稔籾の発生が見られ，登熟向上に関する評価に支障が出る場合がある。そこで，品種選定や移植時期などについて，高知県農業技術センター作物園芸課水田作物担当の協力により決定している。また，機械による玄米の外観品質調査や粒厚分布の調査においても協力を得て実施している。

３）ＧＬＰへの対応

2024 年度から準備し，当試験地は植調近中四研究センターの現地ほ場としてＧＬＰに基づく作物残留試験を実施している。

図 -6　アンパンマンミュージアムと朴ノ木公園

図 -7　県立牧野植物園の温室での「ラン展」入口

図 -8　高知県立のいち動物園

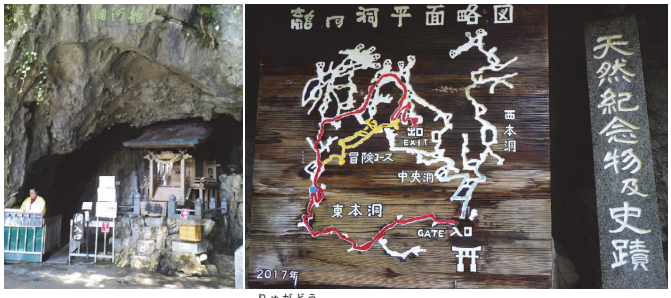

図 -9　龍河洞入り口と洞内略図

図 -10　高知城天守閣からの眺望

図 -11　「マルモッタン」で咲くモネの愛した青色の睡蓮（2025.7.25）

試験地周辺の見所など

現在ＮＨＫでは，アンパンマンの生みの親であるやなせたかしとその妻,暢をモデルとした愛と勇気の物語「あんぱん」が放映中であり，２年前の牧野富太郎をモデルとした「らんまん」に続く高知が舞台の連続テレビ小説である。また，2010 年に放送された坂本龍馬の大河ドラマ「龍馬伝」も思い出される。

高知龍馬空港から試験地周辺の観光地（図 -5）までは,「香美市立やなせたかし記念館･アンパンマンミュージアム」（図 -6）が約 20km（車で約 30 分）であり，お二人の眠る朴ノ木公園も近くである。また，坂本龍馬像や桂浜水族館がある「桂浜」は約 17km（車で約 25 分),「高知県立牧野植物園」（図 -7）は約 13km（車で約 17 分）である。いずれも，やや時間はかかるが公共交通機関や周遊バスで観光が可能である。

さらに当試験地から 3 km ほどのところには，世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の 2019 年日本の動物園ランキングで 1 位，2020 年動物園・水族館ランキングで 1 位となった「高知県立のいち動物園」（図 -8）があり，動物の生息環境を再現した展示の中で，動物たちが伸び伸びと過ごしている様子が見られ，多くの方から好評を得ている。空港からは約 7km（車で約 12 分）である。

その動物園の北東, 5km ほどに石灰岩の鍾乳洞「龍河洞」（図 -9）がある。全長約 4 km（観光で歩くコースは約 1 km）の神秘の洞窟は，1 億 7,500 万年の歳月を有した石灰岩の鍾乳洞で，古代人の遺した「神の壺」や石筍・石柱など多くの見どころがある。空港からは約 12km（車で約 16 分）である。

その他にも，高知城（図 -10）と高知県立高知城歴史博物館，長宗我部元親の城跡と城山にある高知県立歴史民俗資料館，はりまや橋，日曜市などがある。

県内全域では，クロード・モネが愛したジヴェルニーにある「モネの庭」の名を名乗ることを許された「北川村『モネの庭』マルモッタン」（図 -11），仁淀ブルーで有名な仁淀川，大規模なダムがなく日本最後の清流と言われる四万十川，世界ジオパークにも認定された室戸岬周辺，県最南端の絶景足摺岬などがあり，食関連ではひろめ市場など，イベントではよさこい祭や土佐のおきゃくなど，多くの観光スポットやイベントがある。

高知県は東西に長く，海から山まで高低差もあり，季節によって様々な表情が見られることから，行き先を考える場合は，高知県公式観光ＷＥＢサイト「こうち旅ネット」などを参考に，時期や行き先に応じたプランを練っていただきたい。

高知県の県民性は，もてなしの心と「酒を酌み交わせば誰とでもすぐ親しくなれる」のが特徴であると言われる。また，エネルギッシュな「よさこい祭り」は高知県民の元気さが表れている。なかでも，特に女性が元気で負けん気が強く，「あんぱん」にもよく出てくるがそのような活発な女性を土佐弁で「はちきん」という。諸説あるが，その強さは男４人分と同等とのことからのようである。

さいごに

試験地の開設に当たっては，前職の退職前 2020 年頃から植調岡山研究センター赤澤所長にお声がけ頂くとともに，開設前年の 2022 年度中に同センター赤澤所長，兵庫試験地須藤主任，滋賀試験地堀口主任からは試験実施状況の見学とともに試験地の運営，試験の実施に関する多くのご助言とご指導を頂いた。

また，同センター赤澤所長と広島試験地三善主任のご協力により，イレクター枠や試験枠など，試験にかかる器具，用具など多くの資材を広島試験地より譲渡いただいたことで 2023 年４月に試験を開始できた。

試験圃場の準備，試験区の設置及び調査などの作業の補助については，以前試験場で適２試験を担当していた方が１名，水田の管理を担当していた方が２名おり，様々な手順を熟知し率先して作業できることから，多くの場面で補佐して頂いている。加えて，他のメンバーも試験場経験者や教職員ＯＢなどで，各種作業や調査の手順や精度についても理解が早く，重要な人材となっている。なお，ほぼ同年代のメンバーで行っていることから，高齢化への対応を考えていかなければならない。

県の試験研究機関である高知県農業技術センターには，開設当初から様々な場面でご協力頂いている。また，ＧＬＰ作物残留試験では，同町内の一般社団法人日本植物防疫協会高知試験場から，栽培や試験に関して多くのご支援をいただいた。

開設から現在に至るまで，本当に多くの方々のご協力，ご支援により試験地の運営が続けられている。この場をお借りし，お世話になりました皆様に心から謝意を申し上げる。